

上田市立清明小学校



- (1) 学級数 15 学級
- (2) 児童・生徒数 289 名
- (3) 職員数 32 名
- (4) 学校紹介 <http://www.school.umic.jp/seimei/>

本校は、昭和 34 年に当時の中央小学校と南小学校の二校が統合して、清明小学校として出発し、今年度で 66 年目を迎える。上田城のお作事場跡に校舎を構え、城下町を学区とした上田の中心部にある学校である。学校教育目標を「清く明るく 豊かな心で 進んで学ぶ 子どもの育成」とし、子どもたちが主体的に学びに取り組む授業づくりを進め、「わくわくと希望が持てる 来たくなる学校」を目指して教育活動に取り組んでいる。

(5) 日常的な情報機器の活用

①クロムブックの学習活動への活用

日々の学習活動の中で生かす方法を探りながら活用を進めてきている。

- ・スプレッドシートを利用して個々の考えを共有する。
- ・フォームを利用して授業の振り返りを集約する。
- ・社会見学後のまとめを、ドキュメントで作成して提出し、教師側からフィードバックを行う。
- ・授業時間の隙間や家庭学習で e-ライブラリを活用し

て、個々の進度で学習を進める。

など、日常的に情報機器を活用できるよう、学年に応じて利活用している。また、全ての職員が同様な指導ができるようにするために、職員の ICT 研修も位置づけている。

②教科以外での活用

児童会の委員長会の中でアンケートをとったり、議案書をドライブで共有したりして効率化を図っている。また、職員間での日常的な連絡にネットワーク上の掲示板を利用したり、各種行事の反省や意見の収集にスプレッドシートやフォームを利用したりして、効率的な運用を図っている。同時に操作に慣れるための研修等も設定するようにしている。

学校から保護者へ向けて行う学校評価アンケート等も同様に行ったり、PTA の情報共有や過去の資料の保存についてもクラウドを利用して効率化したりするようにしている。

(6) 課題等

クロムブックの利用は日常化してきた。子どもたちが「目的をもって情報を収集し、自分の言葉にしてまとめたり、発信したりする力」をつけていくことが課題としてあげられる。

また、新しい機能やアプリケーションを紹介してもらうなど研修は進めているが、それを授業のどの場面で有効に活用できるのかについては、検討・試行し、活用方法を考えていきたい。

